

北アルプス穂高岳 山行報告

千葉アルパインクラブ(CAC) のGW合宿に同行させて頂き、北アルプスデビューしてきました。

【山域】北アルプス南部 穂高

【コース】上高地～横尾～涸沢(BC)～奥穂高岳～涸沢(BC)～横尾～上高地

【日時】5/1(夜)～5/5

【天気】5/4(雨) 以外快晴

【参加者】CL 会員外 萱野香織 宮城奈々子(記) 会員外 6人

【コースタイム】

5/2 沢渡駐車場 6:00～6:30 上高地 7:10～9:10 徳沢 9:45～10:30 横尾
11:30～15:50 涸沢(BC)

5/3 涸沢 5:15～ザイテングラート～8:00 穂高岳山荘 8:30～奥穂高山頂
～12:00 穂高岳山荘 12:30～13:30 涸沢

5/5 涸沢 7:15～9:00 横尾 9:45～10:30 徳沢 11:10～12:55 上高地

【山行報告】

5/1

涸沢合流の2人を除く7人は、2台に分乗して船橋を出発(21:55)。

渋滞なく、SA・コンビニに寄って沢渡駐車場(3:00)へ到着。

隣の先行車へお疲れ様の視線を送ると『にゃ!?!』

すでに缶チューハイが握られている……ぷくく。

プチ宴会後、足湯にちよっぴり浸かって 車内で就寝。

5/2

沢渡駐車場よりタクシーで上高地へ向かう。

初めて見る大正池、湖面の逆さ焼岳が美しい。

河童橋で記念撮影後、梓川左岸のなだらかな道をてくてく歩く。

清流の透明さ、そびえる山の雄大さ、全てに目を奪われる。

徳沢では、ダブルKさんが春を告げるフキノトウを収穫。

起伏の少ない行程ゆえ私も遅れる事なく横尾へ着き、前穂高に見惚れていると、

強者4人がガソリン補給と称して小屋で乾杯していた。

経験浅さ著しい私と比べ、2～4倍近くを背負ってる人達なのに……素敵。

長め休憩の後、いよいよ本日の核心へ。

例年より積雪は少なく、気温も高いのでアイゼン無しで出発。

本谷橋を渡り、屏風岩を愛でた後は 正直ほとんど覚えていない。
前を歩くSLの『何すか、それっ!?!』って大きいザックと、己の足元を交互に見ながら
数回の休憩を挟み Sガレをひたすら登る。
涸沢ヒュッテの鯉のぼりを目視してからの道のりが、これまた長い。
肌寒さを感じ始めた頃に やっとテン場へ到着。
ザック用シェルター、V8 テントを張り 早速宴会を開始。
『そんな バカな...』出てきたラムボトルの大きさに顎を外しつつ、
担いでもないのに 酒をいっちょ前に飲んでる私。かたじけない...。
採れたてフキノトウの美味を堪能し、キムチ鍋で温まって長い一日が終了した。

5/3

本日も快晴。
抜けるスカイブルーに山々の稜線が際立つ。
体調不良(!?)のCLがBCに残り、6人でザイテングラートを直登する。
早朝、アイゼンの効きは悪くないのに 少しずつ身体が重くなる。
半分を越えた辺りから 動悸・口渇で歩みが鈍る。
『鼻から吸って、口から吐いて』 サテライト2人が声をかけてくれる。
足を引っ張る自分に焦る私は、鼻から吸って鼻から吐いた。
興奮した変質者の鼻息になって間もなく、頭痛が起きて頭の中に白いモヤがかかる。
『あれ...ダメかも』
諦めかけた時、小屋前の人々が視界に入って足が軽くなる。単細胞で良かった。
小屋前で休憩中、SL・Rさんの無線で前穂高の滑落事故を知る。
てっぺんを目指したかったが、無理せずSLと残って山頂を目指す4人を見送る。
涸沢カールを見下ろし、山の話の聞いていると長野県警のヘリが来る。
教わったばかりのヘリ救助がライブで行われ、北尾根4・5コルの登山者は搬送されていった。その後、岐阜県警ヘリも捜索に飛んだので、無事に帰還した4人を思わずハグ。

下山は雪が緩んでいて、SLにロープで繋いで貰って、鵜飼の鵜となる。
途中からは尻セードに挑戦。合宿中一番の笑顔(Kさん談)で楽しく降りると、
BCではCLが雪の居酒屋を設営、大将と化していた。
入店して寛いていると、デジャヴな大きさのザックを担いだ男女がやって来る。
Sさん・GRちゃんの合流に盛り上がり、テント設営後は、今夜も宴会。
『ここは、山の中だよな?』 出現した鉄板で焼肉が始まり、隣のテント(GRちゃん お友達)から カツオ竜田揚げ(揚げたて)・チーズとろけるピザのお裾分け。
『今回は涸フェスだからさ』 CLの言葉の本当の意味を理解した夜だった。

5/4

悪天候の為、朝イチで停滞が決まる。

朝からビール、おやつにワイン。昼寝にガールズトークと時間を潰してやっと夕方になる。

グリーンカレーの夕飯が終わりトランプしてると、風が強まり雨も激しくなる。

テント内にいるのに、染みてくる雨にアウターが濡れる。『によー!!』

山から吹き付ける強風にテントが歪む。山側 3 人は人間ポールとなってテントを支える。

気分は大海原で翻弄される小舟。

予報を裏切る雨と強風は、夜中過ぎても続き、チキンな私は止むまでシュラフで

眠れない時間を過ごした。

5/5

昨日の暴風雨が嘘みたいな快晴。

CL を先頭に快調なペースで下山を開始。

横尾で再びガソリン補給(今回は私も参加)し、往路と異なり梓川の右岸を歩く。

昨日を思うと腹立たしいお天気だが、徳沢では絶好のソフトクリーム日和。

名残惜しく穂高の山々を何度も振り返りながら、上高地へ到着。

近隣の温泉(名前忘れちゃったけど、露天風呂の湯が絶品)で汗を流し帰葉した。

私が参加しても大丈夫かな?と不安で、予習と脳内イメトレ妄想を繰り返して 1 ヶ月。

今や私の脳ミソは、得難い経験と知識、楽しい思い出でパンクしそうです。

CAC の皆様、H ちゃん、K ちゃん。

本当にありがとうございました。



明神(初日)



ザイテングラート



赤ワイン求めて涸沢小屋へ



涸沢BC(最終日)



サテライト組



日常での悲劇